

北九州市長 武内和久様

2024年1月10日

鉄道史学会会長 渡邊恵一
都市史学会会長 中野隆生
(順不同)

初代門司駅跡における遺構の保存・公開を求める要望

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび貴市が整備する複合公共施設の建設予定地において、明治期に九州最初の鉄道として開業した九州鉄道門司駅（初代門司駅、1891年4月開業）の遺構が発見されました。2023年11月までの調査によれば、煉瓦で造られた機関車庫の基礎や、初代駅舎の外郭といった鉄道遺構のみならず、1889年に開始された築港工事の痕跡や旧海岸線の石垣など、港湾都市・門司の形成・発展の過程を知ることができる都市遺構も発掘されています。

鉄道史学会および都市史学会は、この遺構が日本の鉄道史・都市史といった領域にとどまらず、東アジアに開かれた港湾都市の重層的な発展がコンパクトな形で凝縮されたきわめて貴重な文化遺産と考えております。2023年11月19日に開催された現地説明会にも多くの見学者が集まったように、産業遺産や近代化遺産に対する人々の関心は高まっており、その歴史的・文化的価値が広く認識されつつあります。このたび発掘された遺構は、既存の九州鉄道記念館と「門司港レトロ」地区を結ぶ動線上に位置しており、門司港を訪れる国内・国外からの観光客の回遊性を促進させるとともに、都市型観光地としての価値をさらに高める唯一無二の観光資源にもなると確信しております。

つきましては、初代門司駅跡における遺構が学術的にみてきわめて高い文化財的価値を持っていることに鑑み、良好な状態で現地に長く保存するとともに、広く公開されることを要望いたします。鉄道史学会および都市史学会には近代の鉄道や都市の専門家が多数所属しておりますので、本遺構の保存・公開に際しては、可能な限りの協力と支援をさせていただきたく所存であることを、申し添えさせていただきます。

以上

なお、本要望書に対するご回答については、後日、下記の幹事学会宛に頂ければ幸いです。

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 1-7-7

白揚第2ビル 2階 日本経済評論社内

鉄道史学会

会長 渡邊恵一

e-mail : tetsudoshigakkai@nikkeihyo.co.jp